



採用後、数年を経験した先輩たちからの
思いを込めたメッセージです

学校現場で活躍する先輩たち

小学校教諭 高橋 琳子 先生

小学校教員のやりがいは、一日の多くの時間を一緒に過ごしていることで、子どもたちの成長を間近に感じられることです。授業中、「先生、分かった!」と笑顔で声をかけてくれる瞬間は、何より心に残ります。専科教員が授業に入ってくださり、空き時間も確保されるので、担任として子ども一人ひとりと向き合う時間を多く持つことができます。

また、学校全体で子どもたちの様子を共有し、多くの教員が目で見守る体制が整っていることで、一人で抱え込まず、安心して指導に取り組めます。

職員室では授業や学級経営に悩んだ際、同僚の先生が「一緒に考えよう」と寄り添ってくれ、支え合う温かい関係が築かれています。さらに、互いの授業を参観し意見を交わす機会も多く、日々、新しい視点や工夫に出会うことができます。

経験者研修では、他地域の教員との交流を通して視野が広がり、自分自身の成長を実感することができます。子どもと共に学び続けられることに、大きなやりがいを感じています。

中学校教諭 木村 一帆 先生

祖母が教員だったこともあり、教壇に立つことは子どもの頃からの私の夢でした。実際に教育現場に立ってみると、中学校の教員として、授業や学校生活、部活動で生徒に関わる日々は、多くの学びとやりがいに満ちています。授業はもちろんのこと、それだけではなく、生徒一人ひとりの成長を支えることができるのは、中学校の教育現場ならではの喜びです。特に生徒指導では、学校・学年の先生方とチームとして協力し、時には悩みながらも、生徒と真剣に向き合うことで、互いに信頼関係を築くことができます。

また、採用当初から担っている野球部の顧問では、グラウンドで共に汗を流し、努力を重ねる中で、生徒の可能性が大きく広がっていく瞬間に立ち会えます。

そのような日々の指導を通じて感じるのは、「生徒と共に自分も成長している」という実感です。未来を担う若者と関わることは、責任の大きさと同時に、かけがえのない充実感を与えてくれます。ぜひ神奈川県で、生徒と共に成長しながら働きましょう!!

高等学校教諭 佐藤 航基 先生

教員は授業や学級経営、部活動などを通して、生徒の成長に携わることができます。特に高校生は大人に近づいてきていて、互いの価値観を共有することができ、生徒の人間性が豊かになっていく姿を見られることが魅力だと思います。時には叱ることや厳しいことを言わなければならないこともあります。「もっと他に良い声のかけ方があったのではないか」と振り返ることもあります。しばらくして生徒が成長した姿を見たときの感動は他ではなかなか味わうことのできないものだと思います。教員の仕事は大変なこともありますが、その分、味わえる感動や嬉しさはとても大きいです。

生徒との関わりの中に、常に新たな発見があります。教員は生徒の成長を間近で感じながら、自分自身も成長していくことができる素晴らしい仕事だと思います。困ったときには周りの先生方が助けてくれ、相談のしてくれる環境があり、安心して働くことができます。ぜひ、神奈川県で一緒に働きましょう。

特別支援学校教諭 渡邊 万由子 先生

毎年4月、新しい学級の担任になる度に「この子をもっと知りたい」という思いを抱きます。特別支援学校の教員として働く中で、教員の専門性は「豊かな想像力を持つこと」と感じています。

特別支援学校の中には、発語のない児童・生徒もいますが、一人ひとりが自分なりの表現方法を持っています。教員である自分が既に持っているモノサシを一度捨て、児童・生徒の目線の先に目を向けると、そこには新たな気づきや学びが内包されています。

一方、日々の児童・生徒理解の過程では、常に新しい疑問が生じたり、正解のない問いに向き合ったりすることも度々あります。でも、特別支援学校は「チーム支援」を重点目標に挙げているため、担任が一人で抱え込むことなく、チームで「より良い」指導や支援に向けて話し合うことができる点が、神奈川県で働くことの魅力の一つです。

子どもたちの成長の結果だけでなく、その学びのプロセスに寄り添えることが、特別支援学校の教員である醍醐味だと感じています。

養護教諭 安部川 万結 先生

保健室には、毎日様々な理由でたくさんのお子さんが来室します。言葉で伝えることが苦手な子、涙が溢れてしまって話せない子も少なくないので、一人ひとり異なった痛みや辛さの原因を紐解いていくことに難しさを感じることがあります。そんな時は、子どもが発してくれた一言から伝えようとしている内容を想像してみたり、どんな声かけなら話しやすいかなと考えてみたり、少しでも体の痛みや心の辛さを和らげることができたら良いなという思いで向き合っています。また、子どもたちの頑張りを見守り、心が大きく成長した姿を職員や保護者と共に喜べる感動は、この仕事をしてよかったなと感じる瞬間です。

養護教諭は一人職のため、はじめは不安な気持ちでいっぱいでしたが、同じ職場の先生方や近隣の養護教諭の先生方がいつも支えてくださり、「一人ではない」と思えて安心して働くことができている。

ぜひ一緒に、子どもたちの健康を支え、成長を見守っていただけると嬉しいです。神奈川県で待っています!

栄養教諭 吉田 野里子 先生

給食の時間に子どもたちが笑顔で「おいしい!」と言ってくれたときや食育授業で楽しそうに学ぶ姿を見たときなどは、子どもたちからたくさんのパワーをもらい、やりがいと幸せを感じます。

栄養教諭の仕事は、主に「学校給食の管理」と学校・地域全体で「食育」を行えるようコーディネートする二つがあります。どちらの仕事も心を込めて給食を調理してくださる調理員さん、経験とアイデア豊富な先生方、食材を届けてくださる納入者の方々など、さまざまな職種の方とコミュニケーションをとりながら連携することがとても大切です。

一人職ですが、仕事で悩んだときには市内の栄養教諭の先生方に相談し、安心して働くことができます。神奈川県栄養教諭研修では、同期の先生方と情報交換をしたり先輩栄養教諭の先生の食育事例を学んだり、共に学び続ける環境があります。

ぜひ一緒に、おいしい給食と楽しい食育を子どもたちに届けましょう。

子ども・同僚と築く
学びの時間



小田原市立久野小学校
高橋 琳子 先生

生徒と共に
自分も成長



海老名市立今泉中学校
木村 一帆 先生

生徒との関わりの中に、
常に新たな発見がある



神奈川県立
厚木西高等学校
佐藤 航基 先生

想像力を基盤とした
児童・生徒理解



神奈川県立
津久井支援学校
渡邊 万由子 先生

子どもたちの健康を支え、
成長を見守りたい



茅ヶ崎市立鶴が台小学校
安部川 万結 先生

子どもたちの笑顔が
仕事のやりがい



秦野市立広畑小学校
吉田 野里子 先生